

自分で実験して確かめよう !! 断然おもしろいマイクロスケール実験

わくわくときめきマイクロ実験教室

マイクロスケール実験とはなんだろう。やってみよう
水の電気分解と電池についてのマイクロスケール実験

主催 わくわくときめき化学実験隊

後援（申請中） 仙台市教育委員会、（社）日本化学会東北支部、河北新報社

期日 11月29日（土） 13時から15時30分まで

場所 仙台市旭ヶ丘市民センター展示ホール（仙台地下鉄旭ヶ丘駅直結）

対象 原則として中学1・2年生（小6については余裕があれば受け入れます）

参加募集定員 20名（定員に達ししだい、受付を閉めきります）

参加料 無料

問い合わせ、参加申込 参加希望者の名前、学校、学年、今後の連絡先（メールアドレス、電話またはFAX番号など）を書いて、メールかFAXでお申込み下さい。

メールの場合 次のアドレスに送信 wakuwakujikken21@gmail.com

FAXの場合 次の番号に送信 022-286-3542（斎藤）

（なお、申込者の個人情報は受付目的のほかに用いることはありません）

わくわくときめき化学実験隊（代表 荻野和子 東北大学名誉教授・理学博士）では、「わくわくときめきマイクロ実験教室」を開催します。化学を専門とする東北大学の名誉教授を中心とする経験豊かな指導陣による少人数対象の実験教室です。実験を見るのではなく自分の手を動かして実験します。“わくわくときめき”の不思議な科学の世界を体験してみましょう。今回の実験テーマは、中学校理科で学ぶ電気エネルギーと化学変化です。安全性が高く、薬品の使用量や廃棄物の量がごく少量で効果的な教育結果が期待できることから、いま世界的に注目されているマイクロスケール・ケミストリーの方法で行います。保護者や教員の方々の見学も歓迎します。

わくわくときめき化学実験隊

代表 荻野和子（東北大学名誉教授）

事務局代表 小林将浩（元化学オリンピック日本委員会事務局長）

旭ヶ丘市民センター会場実施委員会 代表 斎藤紘一（東北大学名誉教授）

連絡先 FAX 022-286-3542

子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動